

古河市SDGsパートナー宣言書

団体名・企業名 大矢化学工業株式会社

代表者職・氏名 代表取締役 大矢 光伸

次のとおり古河市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します

1：目指しているSDGsのゴール（または今後目指すゴール）【複数選択可】

					
					
					
					※該当するゴールに○を記入してください

2：SDGsへの貢献に向けた組織を代表するビジョン・団体の方針

VOCの排出および化石燃料の燃焼を少しでも少なくすること

3：SDGsへの貢献や、持続可能な都市の実現に向けて行っていること

余剰塗料を再調色して再利用することにより廃棄（すなわち放置や燃焼等）によっておこるVOCの排出量を削減している

古河市や他の団体と連携可能な項目【複数選択可】

※該当するものにチェックをしてください。

- | | |
|--|--|
| ☐ ボランティア | ☐ 研修会・講演会の実施 |
| ☒ 知識・技術の提供 | ☐ 実証事業の実施 |
| ☐ イベント開催 | ☒ 寄付金・商品等の提供 |
| ☐ その他（ | ） |

SDGs に関する取組を表す写真等の画像データ

洗浄槽加熱蒸気発生用ボイラ原水の太陽熱予加熱による重油燃焼量削減計画.docx

洗浄槽加熱蒸気発生用ボイラ原水の太陽熱予加熱による重油燃焼量削減計画

当社茨城工場の洗浄槽加熱蒸気発生用ボイラは原水の温度（ただし機械に支障を生ずる温度以下）に関わらず洗浄槽で必要な温度かつ必要量の蒸気を生成する。しかも太陽光で加熱可能な 60℃程度までの原水温度であればボイラにおける燃料の総合効率はほとんど変わらないことがわかっている。

これは太陽光によりボイラの原水タンクの原水に予め熱を付加すれば、原水が原水タンクからボイラにいたるまで（短距離）の極めて僅かな冷却を除くと、この熱量のほぼ全てに相当する燃料（A重油）の燃焼が自動的に抑制されることを意味している。

原水タンクの原水の太陽光予加熱量を常時把握するのは

1. 原水タンクの水を太陽光加熱器に循環させる場合は循環管路に流量計、また循環管路の原水タンクへの入口と出口に温度計を設置してそのデータを P C に送り数値積分させることにより容易である。
2. 原水タンクに熱交換器を設け、この熱交換器に太陽光加熱器で過熱した媒体を供給する場合も同様であって、媒体管路に流量計、また熱交換器の入口と出口に温度計を設置してそのデータを P C に送り、媒体の比熱を把握したうえで数値積分を行うことにより容易である。

ボイラ原水の太陽熱予加熱にあたっては、当社の場合

1. 太陽光加熱器の設置場所が原水タンクから遠いうえ確保が困難である。
2. 流量計、温度計と P C とのインターフェイスと採取データを積分するためのソフトウェアの調査がすすんでいない。

これらのうち 2. は配電盤茨城団地の指導により容易である。いずれにせよ計画全体は配電盤茨城団地の指導により進める計画である。

2023/7/24

大矢化学工業株式会社

